

令和6年度 学校評価について(結果)

1 教育目標

～「いい顔 いい声 いい心」の学校～
自ら考え協働する、心豊かで粘り強い子どもの育成

2 学校経営方針

「あいさつ・へんじ」「そろえる」「言葉を磨く」「感謝を伝える」を
キーワードとする学校全体での共通実践

3 重点目標

□ 目指す学校像

- 支持的風土のある、安心安全で美しい学校
- 地域を愛し、地域から愛される、地域と共に子どもを育てる学校
- 歌声があふれる学校

□ 目指す子ども像

こころやさしくたすけあう子
さがしもとめて 学ぶ子
からだをきたえ 明るい子
きまりをまもり やりぬく子

□ 目指す教職員像

- 子どもと共に動き、信頼される教職員
- 子どもの心に寄り添って行動する教職員
- 保護者・地域に積極的にかかわる教職員

＜つながる力＞チーム小櫛

＜考える力＞工夫と実践

○ 読解力育成

- コミュニケーション能力(交流活動・特別活動・自立活動)
- 言葉・歌を大切にする学校文化(挨拶・返事・言葉遣い・全校合唱)
- 自己有用感に裏打ちされた自己肯定感

- 問題解決的な学習過程(こさかき...心にえがく 探し・究める 考え判断する 極めて活用)
- 読書活動の充実(量・質)
- 言語活動の充実(相手意識・必然性・適時性)

働き方
改革

健康安全体力づくり・学校DXの推進

選択と集中

カリキュラムマネジメント(道徳・生活・特活(行事)・各教科)
特別支援教育・人権教育・積極的生徒指導
学校支援組織との連携(育友会・自治会・民生委員・交通指導員他)

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	90	95	94	学校教育目標や明るく楽しい学校の実現について、おおむね達成できました。今後も学校教育目標の実現へ向け努力していきます。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	91	97	94	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			82	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			94	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	90	65	生活面では、挨拶について課題が見られました。引き続き指導をしていきます。いじめについては、早期発見と防止へ向けて、毎月の生活アンケートや日頃の見守りに加え、職員連絡会の場で必ず確認を取るようにし、継続的に取り組んでいきます。「あはは運動」について、今後も周知を図り、児童においては生活目標と関連付けて実践的な態度育成をしていきます。
		挨拶をよくしている	93	83	74	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	81	80	85	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	88	92	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	94	84	94	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	95	85	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	88	84	94	
	特 別 支 援 教 育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	93	95	94	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ くり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	91	97	100	地域の行事等で高学年児童が小柵ソーランを披露することで、元気な児童の姿を地域に届けることができました。学習については、今後もICTを活用し、わかりやすい授業、児童の資質能力を伸ばすことを意識した授業に取り組んでいきます。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	93	95	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	83	76	91	
	キ ャ リ ア 教 育	将来の自立に向けて適切に指導している	89	90	97	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	94			
健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	95	97	体力向上へ向けて全校で縄跳び運動に取り組むことができました。食育について、栄養教諭を中心にICTを活用した指導や残食を減らす取り組みができました。今後も継続し取り組んでいきます。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	82	85	97	
		体力向上に努めている	85	79	94	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	90	96	97	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	96	97	100	不審者やイノシシ情報、感染症情報、教育活動情報等、テトルを活用して発信に努めました。今後も保護者、地域と情報を共有し教育活動を進めていきます。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	96	100	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	90	98	100	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	96	98	91	今後も安全な教育環境、学びやすい教材教具の準備等に心掛けていきます。

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

【成果】

保護者からほぼすべての面でおおむねよい評価をいただいた。テトルやホームページ、各種たよりで日頃の教育活動についてこまめに情報発信をし、学校の取組をアピールできたと思う。また、職員の連携や協力の良さ、保護者への丁寧な対応も高評価につながっていると考える。今後も努力していきたい。

特別支援教育コーディネーターを中心に教育相談、SCの活用を推進してきた。SCの相談枠は常に埋まるほどの活用があった。保護者の悩みや児童の困り感の解消を図り、それぞれの児童の実態に応じた指導や声掛けができた。担任にとっても、児童・保護者の対応について有効な助言があった。

安全管理については、日頃の交通安全指導や育友会、交通安全指導員、地域の方等の協力を得て大きな事故もなく過ごすことができたのは大きな成果である。交通指導員に一人欠員ができたが、引き継ぐ地域の方が見つけることができた。次年度以降も地域の方々に御協力を頂きながら交通安全活動を推進していく。情報提供については、テトルを活用したこまめな情報発信を心がけた。育友会研修案内、生活上の注意喚起、感染症情報、学校や学級だより等発信できた。食育については、栄養教諭が食育ルームを通して、季節や行事に合わせた献立説明を配信し、各学級の電子黒板に提示し指導できた。ICTを様々な場面で活用し効果を上げることができた。

【課題・対策】

生活指導については、挨拶について課題が見られた。保護者や地域と協力して児童への指導を行っていききたい。いじめやSNSについて対応を迫られる場面があった。いじめ防止や人権教育について、情報モラル教育の充実を図りながら、課題解決に取り組む。特にいじめについては、早期発見、チームでの対応等、いじめ防止のマニュアルに沿った取組を全職員で共通実践していく。人権教育については、道徳科の授業等を保護者や地域の方々に公開するなどして、理解を図っていく。また、学校や学級便り、ホームページ、テトルなどによる学校からの積極的な情報発信を今後も継続し、情報を素早く共有することで、保護者・地域の方々の理解・協力を得ていきたい。

6 学校関係者評価

食育について保護者からは高い評価であるが、給食の残食についてはどうか。ある程度の量があると聞いている。保護者と連携して残食を減らす取り組みをしてもよいのではないかな。あいさつについて、学校外で自分から進んでできる子とそうでない子がいるが、こちら側からあいさつをするときちゃんと返してくれる。中学生がよくあいさつをしてくれるが、小学校での素地があるからだと思う。交通指導で立っていて、低学年のころあいさつできなかった子が、高学年であいさつができるようになった姿を見ると感慨深いものがある。小榊小のこまめな情報発信で保護者も大変助かっているのではないかなと思う。今後も活用していつてほしい。本日の授業参観ではプレゼン力のある6年児童を見かけた。全校カラオケ大会も子どもたちの手で開いたと聞いている。70周年記念式典の歌声など、いきいきとした子どもの姿を見かけることができた。県の少年補導員をしているので、何か気になることがあれば情報提供してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

今年度は、多くの項目でおおむね満足のできる評価をいただいた。今年度の取組をさらに充実させたり、努力を継続したりして、目標を達成していきたい。評議委員からは、子どもたちの姿を通して、明るい学校、歌声が広がるのびのびとした学校、自主性のある学校という評価をいただいた。給食の残量を減らす取組については、栄養教諭を中心に保護者との連携を模索していきたい。情報発信、情報の公開について来年度も意識して取り組んでいく。